

		【修正日】平成30年 1月31日
【大分類】設計一般	【小分類】プレストレッシング	【作成日】平成20年 4月 1日
<p>【Q-16】</p> <p>ポストテンション方式の場合に、プレストレスを与えてよい時のコンクリートの圧縮強度は何を用いたらよいか。</p>		

【キーワード】 プレストレス導入, 圧縮強度

<p>【A-16】</p> <p>ポストテンション方式の場合のプレストレスを与えてよい時のコンクリート圧縮応力度は、道路橋示方書Ⅲ17.11(2)に従い、プレストレッシング直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度の1.7倍以上、かつ各PC定着工法で規定される圧縮強度以上とする。</p> <p>なお、各定着工法による導入時の圧縮強度は、「プレレストコンクリート工法 設計施工指針」に記載されている。</p>

【参考文献】

道路橋示方書・同解説Ⅲ:(公社)日本道路協会(平成29年11月)

コンクリートライブラリー-66号 プレレストコンクリート工法 設計施工指針:(社)土木学会(平成3年4月)